

国内自転車生産・輸出入状況（平成28年1～6月）

1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷・在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明し、更に時系列的な推移を示す。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せて我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

平成28年1～6月期の生産状況は、「電動アシスト車」の生産が増加したため全体で前年同期を上回っている。輸入状況については、今期は前年同期に比べ為替が円高となっており、この影響からか、総輸入台数は前年同期に比べ僅かに増加したものの、総輸入金額は減少し、輸入平均単価も下落を示している。

2. 我が国の自転車生産

2-1 平成28年1～6月の生産状況の概要

経済産業省生産動態統計調査によると、平成28年1～6月の我が国の完成自転車生産台数は497,354台、完成自転車生産金額は286億3,800万円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は8.1%増、総生産金額は21.5%増と台数・金額とも増加している。また平成28年1～6月の完成自転車生産平均単価は57,581円となっており、前年同期の51,232円から12.4%上昇した。これらの模様を表1に示す。

表1 平成28年1～6月の我が国自転車生産 前年同期との比較

	総生産台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成28年1～6月	497,354	28,638	57,581
平成27年1～6月	460,063	23,570	51,232
変化	37,291	5,068	6,349
変化%	8.1%	21.5%	12.4%

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成27年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成28年1～6月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。「電動アシスト車」が大きく増加していることがわかる。

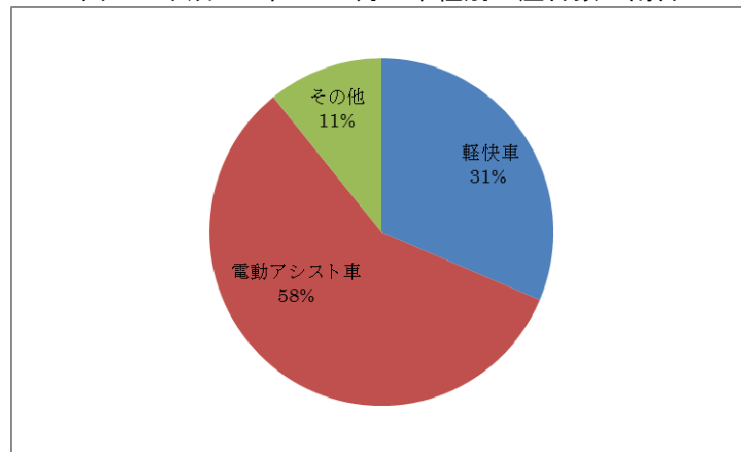
表2 車種別生産状況 平成28年1～6月と平成27年1～6月との比較

1～6月	平成28年		平成27年		変化			
	台数	金額 (百万円)	台数	金額 (百万円)	台数	%	金額 (百万円)	%
軽快車	156,072	3,832	161,228	3,755	-5,156	-3.2	77	2.1
電動アシスト車	287,455	23,292	242,150	18,106	45,305	18.7	5,186	28.6
その他	53,827	1,513	56,685	1,710	-2,858	-5.0	-197	-11.5
計	497,354	28,638	460,063	23,570	37,291	8.1	5,068	21.5

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成27年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に平成28年1～6月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が58%を占め、次いで「軽快車」が31%を占めている。

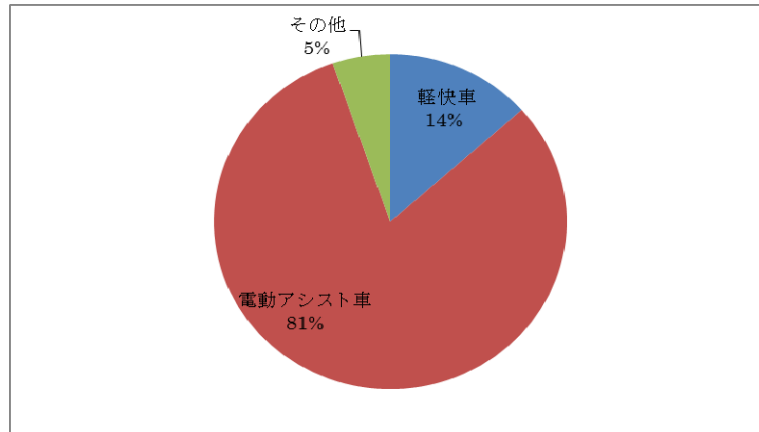
図A 平成28年1～6月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に平成28年1～6月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が81%を占めている。

図 B 平成 28 年 1～6 月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成 28 年 1～6 月と平成 27 年 1～6 月とを比較した表 3 を示す。「軽快車」と「電動アシスト車」が上昇している一方で、「その他」は下落している。

表 3 車種別生産平均単価 平成 28 年 1～6 月と平成 27 年 1～6 月との比較

車種	平成 28 年 1～6 月 生産平均単価(円)	平成 27 年 1～6 月 生産平均単価(円)	変化 (円)	変化(%)
軽快車	24,553	23,290	1,263	5.4
電動アシスト車	81,028	74,772	6,256	8.4
その他	28,109	30,167	-2,058	-6.8
計	57,581	51,232	6,349	12.4

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 27 年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表 4 の通りとなる。台数・金額・平均単価ともに毎月、前年同月を上回っている。

表 4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成 28 年と平成 27 年との比較

	平成 28 年			平成 27 年			生産台数 の変化 (台)	生産金額 の変化 (百万円)	平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)			
1 月	41,742	3,430	82,171	37,302	2,547	68,281	4,440	883	13,891
2 月	45,270	3,612	79,788	36,666	2,837	77,374	8,604	775	2,414
3 月	53,414	4,259	79,736	44,783	3,172	70,830	8,631	1,087	8,905
4 月	48,027	3,917	81,558	44,113	3,380	76,621	3,914	537	4,937
5 月	47,090	3,845	81,652	38,962	3,021	77,537	8,128	824	4,115
6 月	51,912	4,229	81,465	40,324	3,149	78,092	11,588	1,080	3,372
1～6 月	287,455	23,292	81,028	242,150	18,106	74,772	45,305	5,186	6,256

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 27 年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

2-2 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成 28 年 1～6 月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表 5 である。

表 5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況
平成 28 年 1～6 月と平成 27 年 1～6 月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			6 月末在庫 (台)
	台数	金額(百万円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額(百万円)		
平 28.1～6 軽快車	156,072	3,832	392,158	405,501	6,999	170,195	58,027
平 27.1～6 軽快車	161,228	3,755	415,339	413,750	7,087	194,118	61,492
変化 %	-3.2	2.1	-5.6	-2.0	-1.2	-12.3	-5.6
平 28.1～6 電動アシスト車	287,455	23,292	200,549	284,994	21,276	203,951	27,338
平 27.1～6 電動アシスト車	242,150	18,106	173,028	244,739	17,451	172,794	28,010
変化 %	18.7	28.6	15.9	16.4	21.9	18.0	-2.4
平 28.1～6 その他	53,827	1,513	248,451	219,590	4,889	75,838	36,139
平 27.1～6 その他	56,685	1,710	220,663	211,766	4,639	71,945	27,103
変化 %	-5.0	-11.5	12.6	3.7	5.4	5.4	33.3
平 28.1～6 全車種計	497,354	28,638	841,158	910,085	33,163	449,984	121,504
平 27.1～6 全車種計	460,063	23,570	809,030	870,255	29,179	438,857	116,605
変化 %	8.1	21.5	4.0	4.6	13.7	2.5	4.2

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 27 年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、平成 28 年 1～6 月の全車種の「受入」台数は平成 27 年 1～6 月の「受入」台数に比べ 4.0%増加した。但し「軽快車」は 5.6%減少している。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成 28 年 1～6 月の全車種の「出荷・販売」台数は平成 27 年 1～6 月のそれに比べ 4.6%増加した。「電動アシスト車」が大きく増加した一方で「軽快車」は減少している。

「出荷・販売」金額については、全車種の「出荷・販売」金額は 13.7%増加した。やはり「電動アシスト車」が大きく増加した一方で「軽快車」は減少している。

平成 28 年 1～6 月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成 27 年 1～6 月のそれに比べ 2.5%増加した。「軽快車」が減少した一方で「電動アシスト車」と「その他」が増加している。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成 28 年 6 月の全車種の「月末在庫」台数は 121,504 台で、前年同月と比べ 4.2%増加した。

2-3 1～6 月の生産状況の過去 11 年間の推移

表 6 に平成 18 年から平成 28 年まで過去 11 年間の毎年 1～6 月の我が国の自転車生産、出荷及び 6 月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～6月の自転車生産・出荷
及び6月末在庫の過去11年間の推移

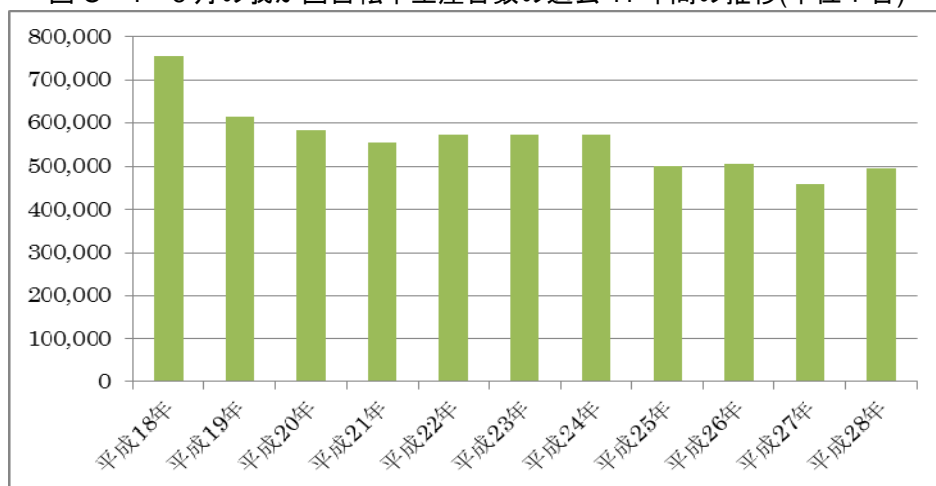
1～6月	生産			出荷			6月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成28年	497,354	28,638	57,581	910,085	33,163	36,439	121,504
平成27年	460,063	23,570	51,232	870,255	29,179	33,529	116,605
平成26年	507,928	24,927	49,076	996,867	30,429	30,525	116,260
平成25年	501,245	21,724	43,340	1,117,480	30,014	26,859	192,663
平成24年	572,870	23,413	40,870	1,518,578	33,996	22,387	212,882
平成23年	573,193	22,576	39,386	1,764,506	37,151	21,055	171,886
平成22年	571,753	20,103	35,160	1,720,957	32,846	19,086	210,186
平成21年	554,590	17,143	30,911	1,730,486	30,985	17,905	190,256
平成20年	582,440	14,409	24,739	1,942,549	29,031	14,945	191,694
平成19年	614,441	13,200	21,483	2,060,732	26,659	12,937	209,947
平成18年	755,461	14,282	18,905	2,281,242	27,158	11,905	232,646

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成27年以前の数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成28年1～6月の「生産台数」は、過去11年間で10番目となっている。一方、「生産金額」は過去11年間で最高となっている。これらの事から「生産平均単価」は過去11年間で最高である。また平成28年1～6月の「出荷台数」は過去11年間で10番目、「出荷金額」は過去11年間で3番目であった。「出荷平均単価」は過去11年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が11年間一貫して高くなっている。「6月末在庫台数」は121,504台で、過去11年間で9番目となっている。

表6を基に平成18年から平成28年までの過去11年間の毎年1～6月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は減少傾向にある。

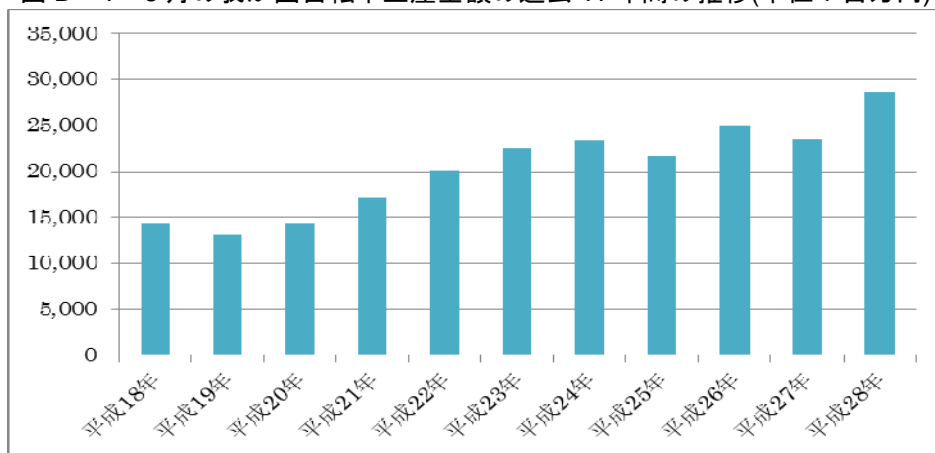
図C 1～6月の我が国自転車生産台数の過去11年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に平成18年から平成28年までの過去11年間の毎年1～6月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。生産金額は増加傾向にあると言って良いと思われる。

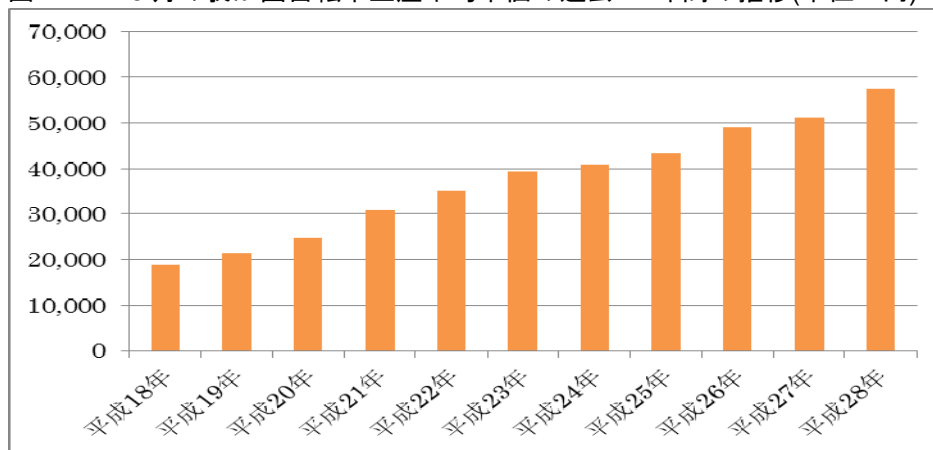
図 D 1～6月の我が国自転車生産金額の過去11年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に、表6を基に平成18年から平成28年までの過去11年間の毎年1～6月の生産平均単価の推移をグラフで示したものが図Eである。生産平均単価は上昇傾向にあることがわかる。

図 E 1～6月の我が国自転車生産平均単価の過去11年間の推移(単位：円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の総生産台数の過去11年間の推移を表7に示す。

表7 月毎の総生産台数の過去11年間の推移（単位：台）

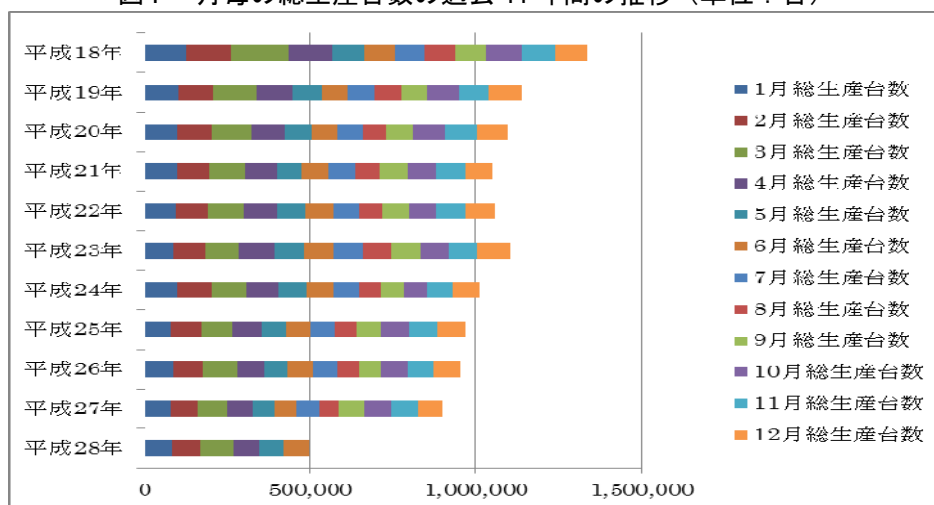
年	1月総生産台数	2月総生産台数	3月総生産台数	4月総生産台数	5月総生産台数	6月総生産台数
平成28年	82,586	88,069	94,670	81,062	72,186	78,781
平成27年	78,891	81,242	89,722	75,857	66,218	68,133
平成26年	84,512	93,408	100,416	83,216	72,121	74,255
平成25年	79,022	92,667	93,062	88,877	75,906	71,711
平成24年	96,874	105,350	106,202	95,001	85,528	83,915
平成23年	86,445	98,081	98,935	107,181	90,542	92,009
平成22年	93,923	99,424	106,524	98,097	87,516	86,269
平成21年	96,944	99,314	106,639	94,506	76,287	80,900
平成20年	97,728	104,912	121,903	96,456	82,921	78,520
平成19年	99,537	108,413	130,721	108,017	86,039	81,714
平成18年	124,909	133,470	177,599	128,017	97,944	93,522

年	7月総生産台数	8月総生産台数	9月総生産台数	10月総生産台数	11月総生産台数	12月総生産台数	総生産台数
平成28年							497,354
平成27年	64,647	62,481	74,354	82,311	79,144	75,095	898,095
平成26年	74,981	62,167	68,705	81,603	78,727	77,437	951,548
平成25年	72,325	66,889	74,392	82,781	84,937	83,385	965,954
平成24年	74,820	65,045	68,721	73,476	73,695	83,687	1,012,314
平成23年	83,200	86,553	88,460	86,528	87,020	96,712	1,101,666
平成22年	75,897	72,056	77,555	82,694	86,498	90,498	1,056,951
平成21年	80,068	76,206	81,360	88,312	85,103	83,830	1,049,469
平成20年	76,552	70,488	80,661	95,816	98,763	90,212	1,094,932
平成19年	79,147	79,509	81,679	91,745	93,341	95,744	1,135,606
平成18年	87,738	94,248	94,359	105,347	99,636	97,723	1,334,512

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
平成27年以前の数値は改定値

表7の月毎の総生産台数の過去11年間の推移をグラフにより示したものが図Fである。各月、比較的均等に生産が行われている様子がわかる。

図F 月毎の総生産台数の過去11年間の推移（単位：台）



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に1～6月の車種別の生産台数の過去11年間の推移を表8に示す。

表8 1～6月の車種別生産台数の過去11年間の推移（単位：台）

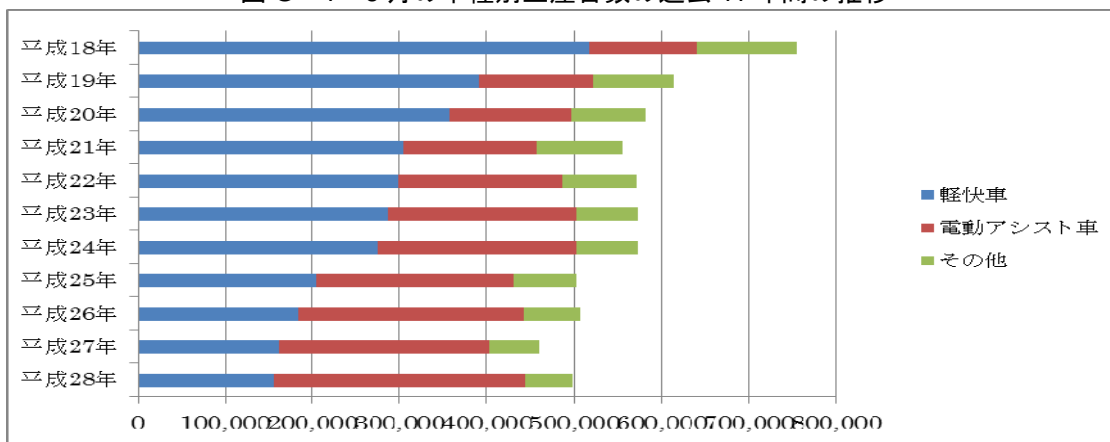
年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
平成28年	156,072	287,455	53,827	497,354
平成27年	161,228	242,150	56,685	460,063
平成26年	183,076	258,625	66,227	507,928
平成25年	203,896	227,086	70,263	501,245
平成24年	275,061	227,108	70,701	572,870
平成23年	285,584	216,638	70,971	573,193
平成22年	299,341	186,858	85,554	571,753
平成21年	303,884	154,006	96,700	554,590
平成20年	357,363	138,377	86,700	582,440
平成19年	389,936	131,511	92,994	614,441
平成18年	517,128	123,999	114,334	755,461

平成23年から従来の「子供車及び幼児車」、「ミニサイクル」、「マウンテンバイク」、「特殊車」を統合し、「その他」と名称変更。平成18年から平成22年までの「その他」の数値は、これら4区分の合計数値。

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表8に示した1～6月の車種別の生産台数の過去11年間の推移をグラフにより示したものが図Gである。「軽快車」が減少し「電動アシスト車」が増加している様子が示されている。

図G 1～6月の車種別生産台数の過去11年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、「その他のモーターサイクル」の中に含まれている。しかし「その他のモーターサイクル」には、関税区分上の上位各区分に該当しない各種モーターサイクルや電動オートバイ等も含まれているので注意が必要である。

表9 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.90000 その他のモーターサイクル	・その他のモーターサイクル、補助原動機付きの自転車、及びサイドカー。電動アシスト車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

3-1 平成28年1～6月の輸入状況の概要

表10は、平成28年1～6月の「その他のモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年同期と比較しながら示したものである。総台数は3,973,098台となり前年同期から僅かに増加した。一方、総CIF金額は45,193,913千円となり前年同期比11.2%減少した。これらの結果、平均CIF単価は11,375円となり前年同期比11.9%下落している。

この間のドル円為替レートを見ると、平成27年1～6月の平均レートはUS1\$=JPY119.99であったのに対し、平成28年1～6月の平均レートはUS1\$=JPY113.12(ともに税関長公示レートを参考にした)であり、円高となっている。この為替の動向が、総CIF金額や平均CIF単価の減少・下落の要因の一つとなっているものと思われる。

表10 平成28年1～6月の我が国の自転車輸入 平成27年1～6月との比較
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成28年1～6月	3,973,098	45,193,913	11,375
平成27年1～6月	3,940,565	50,889,066	12,914
変化	32,533	-5,695,153	-1,539
変化%	0.8	-11.2	-11.9

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

参考まで平成28年1～6月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。

表 10 附表 参考 平成 28 年 1～6 月の我が国の
「その他のモーターサイクル」の輸入 平成 27 年 1～6 月との比較

	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 28 年 1～6 月	31,631	963,317	30,455
平成 27 年 1～6 月	24,217	953,233	39,362
変化	7,414	10,084	-8,907
変化 %	30.6	1.1	-22.6

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-2 平成 28 年 1～6 月の車種別輸入状況

表 11 は平成 28 年 1～6 月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表 11 平成 28 年 1～6 月 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	94,690	2,027,966	21,417
8712.00211 ミニサイクル	87,748	1,221,729	13,923
8712.00218 幼児車	299,747	2,086,709	6,962
8712.00219 子供車	949,274	8,747,272	9,215
8712.00291 軽快車	1,254,391	12,026,091	9,587
8712.00299 その他	1,287,248	19,084,146	14,826
計	3,973,098	45,193,913	11,375

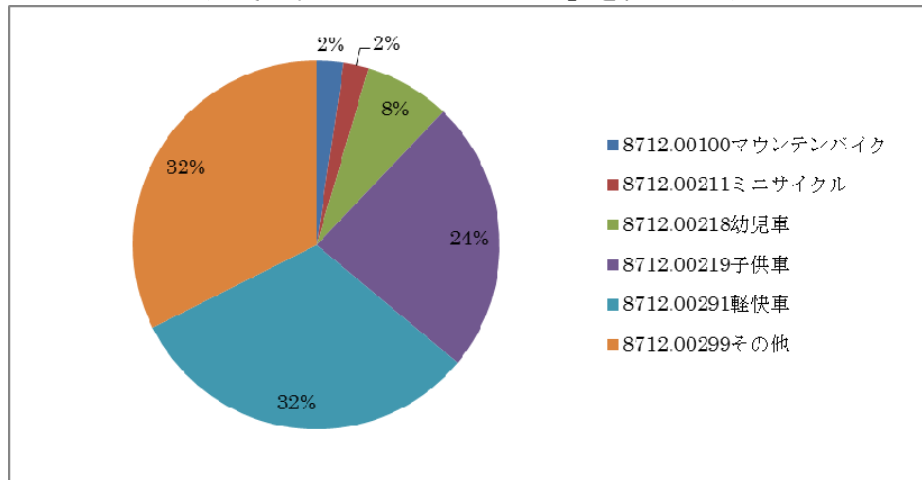
8711.90000 その他のモーターサイクル	31,631	963,317	30,455
-------------------------	--------	---------	--------

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均 CIF 単価が 21,417 円と「その他のモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00291 に分類される「軽快車」はこれまで最も台数が多かったが、スポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれる 8712.00299 「その他」に抜かれた。平均 CIF 単価は 9,587 円である。その 8712.00299 「その他」は、台数が最も多くなったほか、総 CIF 金額も各輸入車種区分の中で最も多くなっている。平均 CIF 単価は 14,826 円である。今回「その他」の輸入台数が「軽快車」を上回ったが、ここ数年の推移に限定すれば、これは「その他」が増えたというより、「軽快車」が減少したため、このような現象が起きていると言ったほうが良い。この模様は後段、表 15 と図 N に示されている。

表 11 を基に、平成 28 年 1～6 月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 H である。「その他」と「軽快車」が各々 32% を占めている。

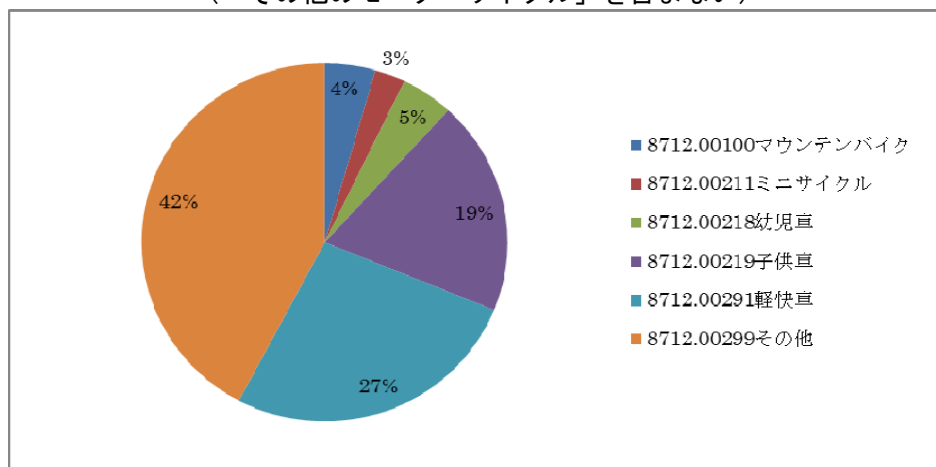
図 H 平成 28 年 1～6 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に、平成 28 年 1～6 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 I である。「その他」が 42%、「軽快車」が 27%と大きな割合を占めている。

図 I 平成 28 年 1～6 月の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 2 は平成 28 年 1～6 月の我が国の車種別自転車輸入について前年同期と比較しながら示したものである。

表 1 2 我が国の車種別自転車輸入 平成 28 年 1～6 月と平成 27 年 1～6 月との比較

1～6 月 車種	平成 28 年		平成 27 年		変化 %	
	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額
8712.00100 マウンテンバイク	94,690	2,027,966	107,818	2,720,434	-12.2%	-25.5%
8712.00211 ミニサイクル	87,748	1,221,729	65,025	761,265	34.9%	60.5%
8712.00218 幼児車	299,747	2,086,709	254,851	2,006,546	17.6%	4.0%
8712.00219 子供車	949,274	8,747,272	901,826	9,597,185	5.3%	-8.9%
8712.00291 軽快車	1,254,391	12,026,091	1,329,178	14,616,972	-5.6%	-17.7%
8712.00299 その他	1,287,248	19,084,146	1,281,867	21,186,664	0.4%	-9.9%
計	3,973,098	45,193,913	3,940,565	50,889,066	0.8%	-11.2%
平均単価(円)		11,375		12,914		-11.9%
8711.90000 その他のモーター サイクル	31,631	963,317	24,217	953,233	30.6%	1.1%
平均単価(円)		30,455		39,362		-22.6%

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

「マウンテンバイク」「軽快車」以外の車種は台数が増加した。金額面では「ミニサイクル」と「幼児車」が増加したが、それ以外の車種は減少している。

3-3 1～6 月の輸入状況の過去 15 年間の推移

表 1 3 は毎年 1～6 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移を示したものである。

表 1 3 毎年 1～6 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移 全車種
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

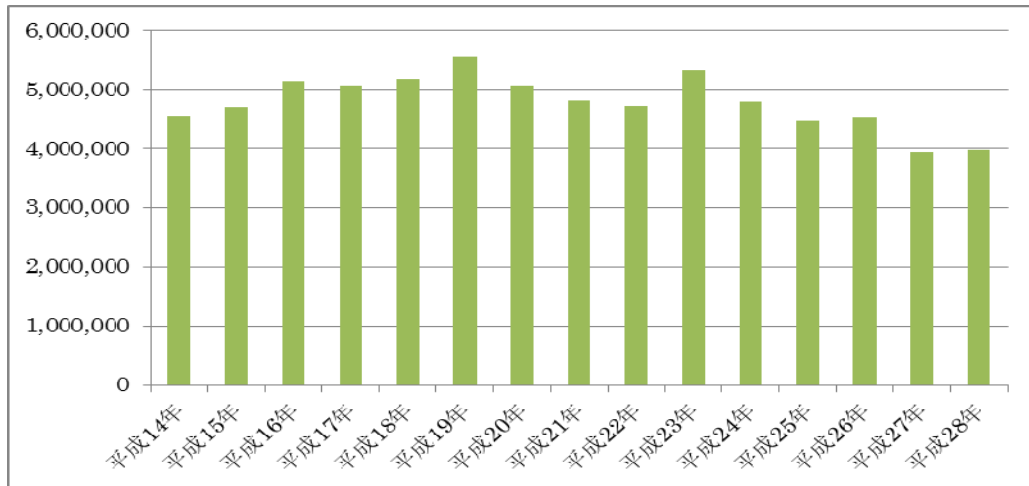
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 28 年	3,973,098	45,193,913	11,375
平成 27 年	3,940,565	50,889,066	12,914
平成 26 年	4,537,063	47,623,581	10,497
平成 25 年	4,471,862	43,332,516	9,690
平成 24 年	4,798,280	41,064,255	8,558
平成 23 年	5,331,948	41,315,173	7,749
平成 22 年	4,723,113	36,870,424	7,806
平成 21 年	4,821,939	41,444,013	8,595
平成 20 年	5,067,152	42,007,396	8,290
平成 19 年	5,564,067	43,338,309	7,789
平成 18 年	5,176,368	37,205,484	7,188
平成 17 年	5,066,553	31,690,477	6,255
平成 16 年	5,136,236	30,997,096	6,035
平成 15 年	4,696,630	31,062,819	6,614
平成 14 年	4,558,983	32,773,081	7,189

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 28 年 1～6 月の総輸入台数は、過去 15 年間で 2 番目の少なさである。一方、平成 28 年 1～6 月の総 CIF 金額は過去 15 年間で 3 番目の多さである。平均 CIF 単価は 11,375 円となり、過去 15 年間で 2 番目となっている。

表 1 3 を基に平成 14 年から平成 28 年までの過去 15 年間の毎年 1～6 月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 J である。

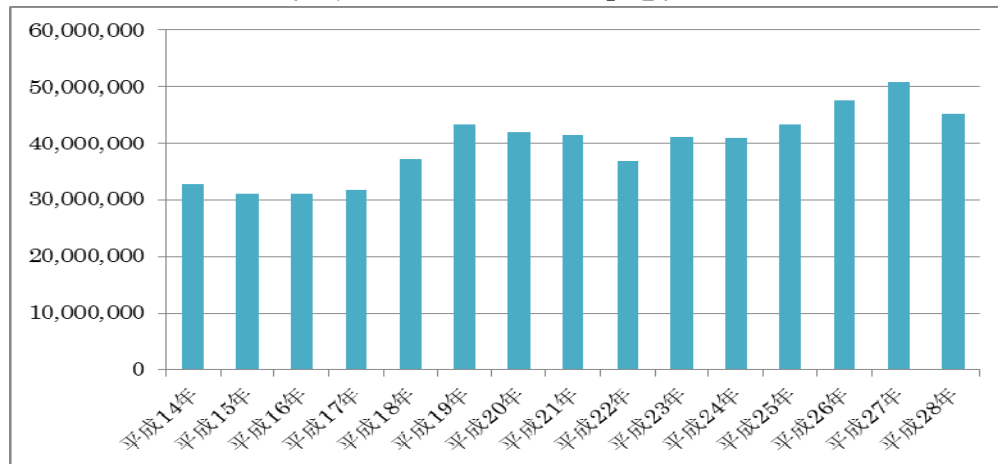
図 J 毎年 1～6 月の我が国自転車輸入総台数の過去 15 年間の推移(単位：台)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 3 を基に平成 14 年から平成 28 年までの過去 15 年間の毎年 1～6 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 K ある。

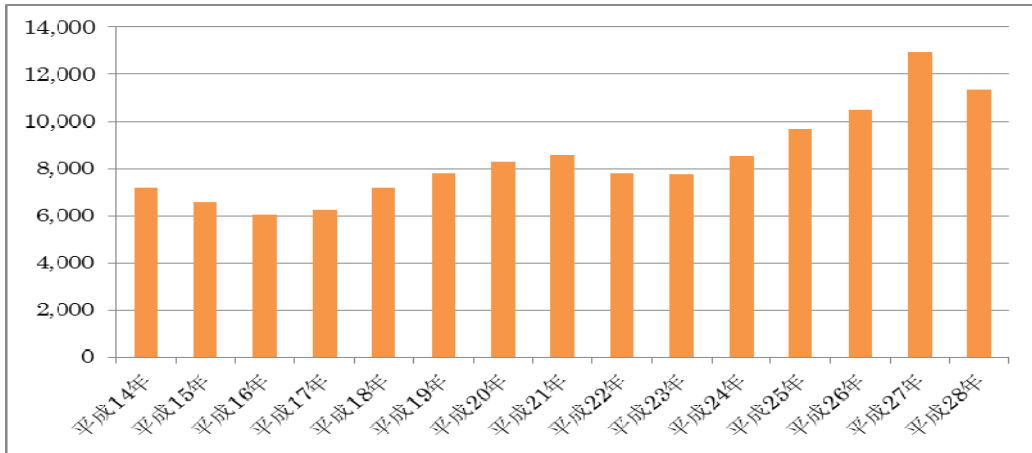
図 K 毎年 1～6 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 15 年間の推移(単位：千円)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に平成 14 年から平成 28 年までの過去 15 年間の毎年 1～6 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 L ある。

図 L 毎年 1～6 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 15 年間の推移(単位：円)
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 15 年間の推移を示したものが表 1 4 である。

表 1 4 月毎の総輸入台数(「その他のモーターサイクル」を含まない)
 の過去 15 年間の推移 (単位：台)

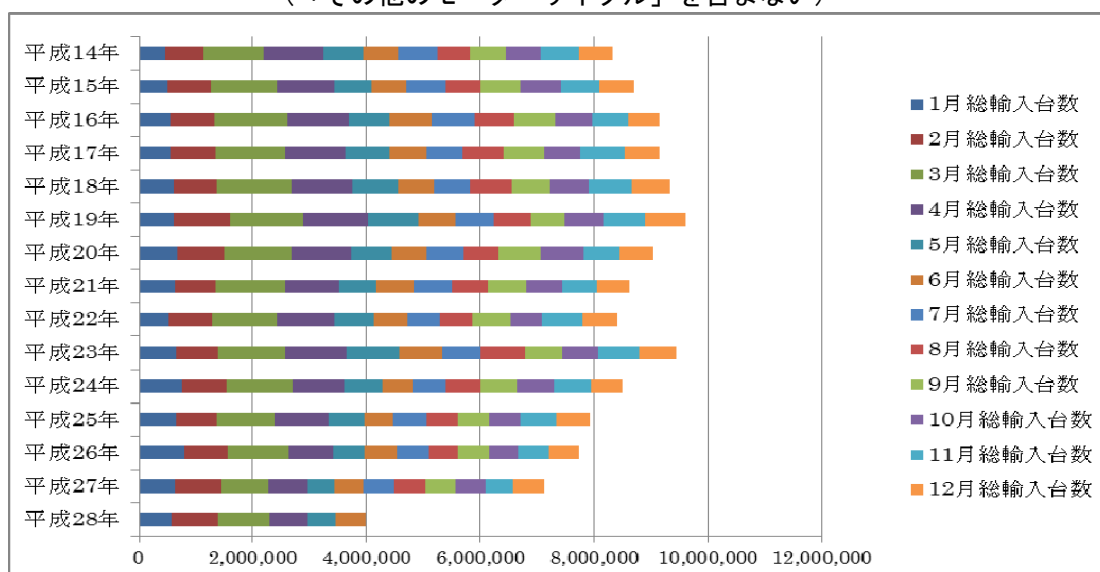
年	1月総輸入台数	2月総輸入台数	3月総輸入台数	4月総輸入台数	5月総輸入台数	6月総輸入台数
平成 28 年	559,379	823,009	916,762	673,000	493,417	507,531
平成 27 年	639,107	809,453	828,696	690,064	462,606	510,639
平成 26 年	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
平成 25 年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成 24 年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成 23 年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成 22 年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成 21 年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成 20 年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成 19 年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成 18 年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成 17 年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成 16 年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成 15 年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329
平成 14 年	462,594	682,561	1,051,785	1,037,903	705,257	618,883

年	7月総輸入台数	8月総輸入台数	9月総輸入台数	10月総輸入台数	11月総輸入台数	12月総輸入台数	総輸入台数
平成28年							3,973,098
平成27年	556,279	542,763	524,133	519,919	484,170	554,615	7,122,444
平成26年	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
平成25年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成24年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成23年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成22年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成21年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成20年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成19年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成18年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成17年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成16年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411
平成15年	694,160	623,008	684,831	710,079	691,745	602,173	8,702,626
平成14年	678,438	585,452	634,374	597,460	671,907	599,479	8,326,093

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表14の月毎の総輸入台数の過去15年間の推移をグラフにより示したものが図Mである。

図M 月毎の総輸入台数の過去15年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表15は、毎年1～6月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去15年間の推移について示したものである。

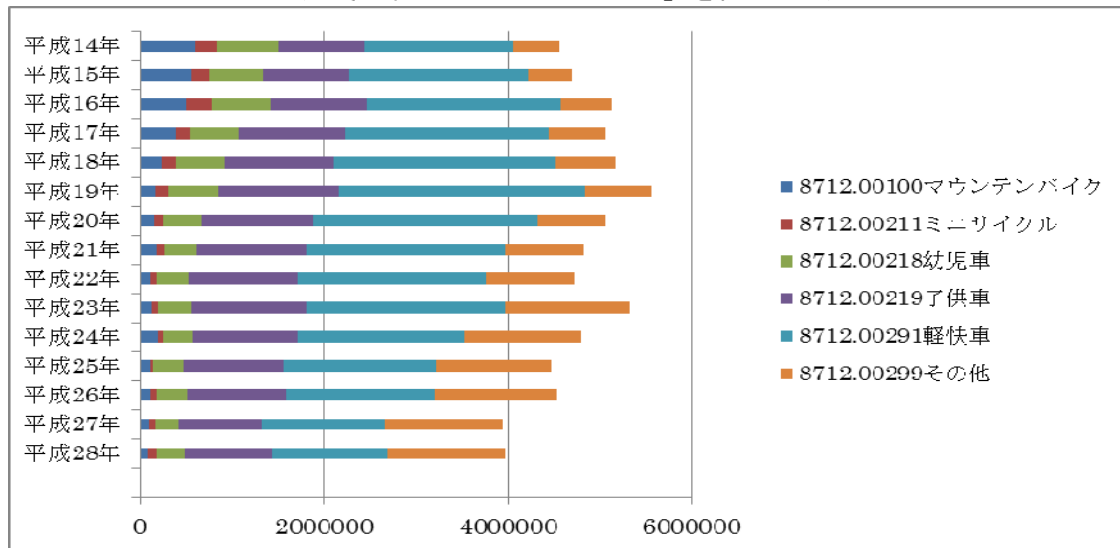
表15 毎年1～6月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去15年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成28年	94,690	87,748	299,747	949,274	1,254,391	1,287,248	3,973,098
平成27年	107,818	65,025	254,851	901,826	1,329,178	1,281,867	3,940,565
平成26年	115,796	73,373	320,422	1,079,838	1,613,470	1,334,164	4,537,063
平成25年	112,378	36,363	328,153	1,080,442	1,656,647	1,257,879	4,471,862
平成24年	190,955	53,801	340,845	1,125,604	1,808,960	1,278,115	4,798,280
平成23年	133,186	65,450	361,109	1,252,489	2,153,138	1,366,576	5,331,948
平成22年	112,694	72,310	337,421	1,186,829	2,055,075	958,784	4,723,113
平成21年	178,663	82,579	361,821	1,183,163	2,170,068	845,645	4,821,939
平成20年	153,604	96,776	422,657	1,217,508	2,438,420	738,187	5,067,152
平成19年	165,451	140,261	550,506	1,302,037	2,681,058	724,754	5,564,067
平成18年	236,521	162,182	527,333	1,179,149	2,412,514	658,619	5,176,318
平成17年	388,361	155,871	535,139	1,154,215	2,213,253	619,714	5,066,553
平成16年	498,563	283,292	636,625	1,042,198	2,113,227	562,331	5,136,236
平成15年	551,806	199,093	589,703	928,226	1,946,648	481,154	4,696,630
平成14年	603,546	243,991	661,858	925,448	1,625,851	498,289	4,558,983

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図Nのようになる。

図N 毎年1～6月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去15年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に参考まで毎年1～6月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去15年間の推移を表16に示す。

表16 参考 毎年1～6月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去15年間の推移

年	総輸入台数	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成28年	31,631	963,317	30,455
平成27年	24,217	953,233	39,362
平成26年	27,771	1,083,202	39,005
平成25年	40,141	1,410,437	35,137
平成24年	20,507	606,910	29,595
平成23年	35,722	894,645	25,045
平成22年	50,429	1,254,666	24,880
平成21年	37,218	877,317	23,572
平成20年	29,476	679,730	23,060
平成19年	38,825	945,935	24,364
平成18年	45,506	810,855	17,819
平成17年	53,759	841,246	15,648
平成16年	59,349	838,465	14,128
平成15年	171,388	1,269,150	7,405
平成14年	73,840	679,272	9,199

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

平成28年1～6月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表17である。

表17 平成28年1～6月の我が国の完成自転車輸入 主要供給元（「その他のモーターサイクル」を含まない）

供給元	台数	輸入総台数に占める割合(%)	CIF金額(千円)	輸入総金額に占める割合(%)	平均CIF単価(円)
中華人民共和国	3,860,612	97.2	38,885,310	86.0	10,072
台湾	103,974	2.6	5,554,837	12.3	53,425
その他	8,512	0.2	753,766	1.7	88,553
計	3,973,098	100.0	45,193,913	100.0	11,375

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の97.2%、総CIF金額の86.0%を占めている。平均CIF単価は10,072円であった。これに次ぐのが「台湾」で、総台数の2.6%、総CIF金額の12.3%を占めている。平均CIF単価は53,425円である。これら2つの国・地域で総台数の99.8%、総CIF金額の98.3%を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表18のようになっている。

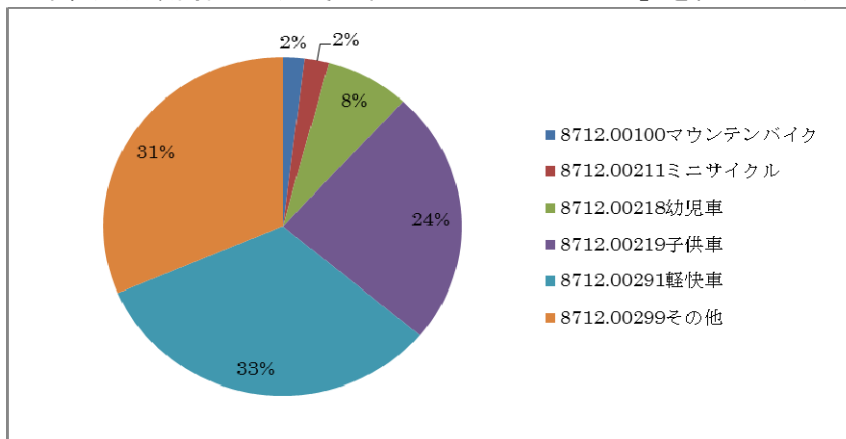
表18 平成28年1～6月の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	76,557	1,268,919	16,575
8712.00211 ミニサイクル	84,616	1,042,953	12,326
8712.00218 幼児車	292,429	1,963,634	6,715
8712.00219 子供車	939,800	8,507,809	9,053
8712.00291 軽快車	1,253,563	11,993,836	9,568
8712.00299 その他	1,213,647	14,108,159	11,625
計	3,860,612	38,885,310	10,072

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表18に示した平成28年1～6月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Oである。「軽快車」が33%を占め、次いで「その他」が31%を占めている。「中華人民共和国」からの輸入台数が非常に多いため、我が国の全体の車種別輸入台数割合を示した図Hと似た状態が示されている。

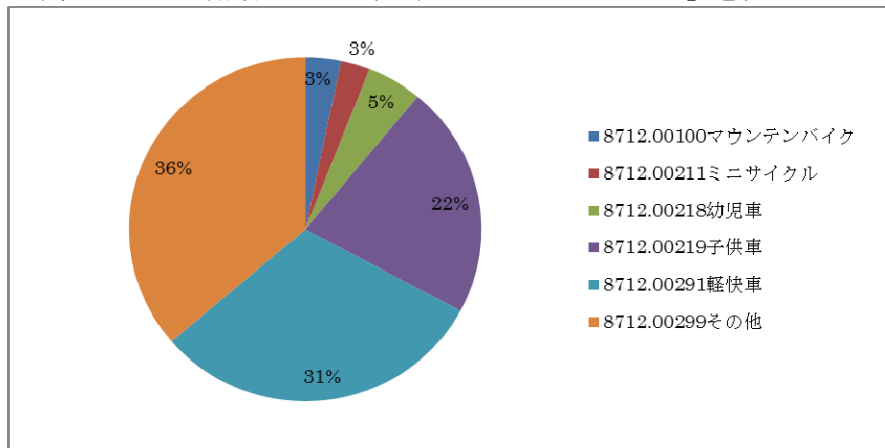
図O 平成28年1～6月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別台数割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表18に示した平成28年1～6月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図Pである。「その他」が36%を占め、次いで「軽快車」が31%を占めている。

図 P 平成 28 年 1～6 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別 CIF 金額割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表 19 のようになっている。

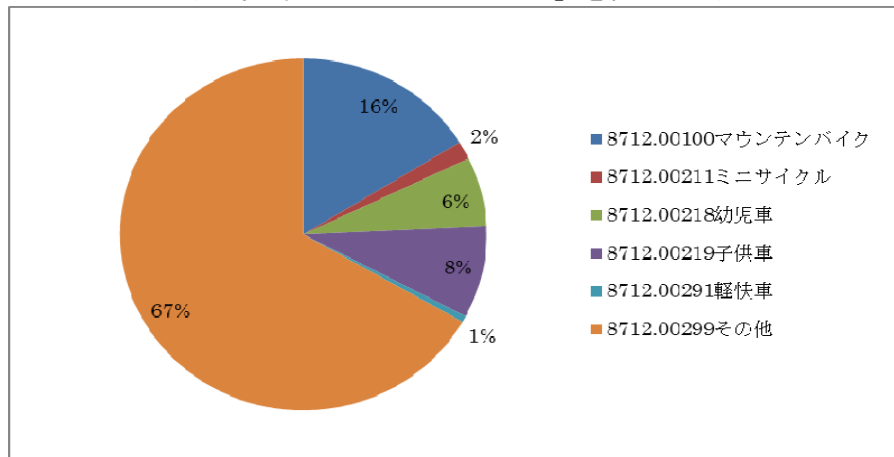
表 19 平成 28 年 1～6 月の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	16,888	702,114	41,575
8712.00211 ミニサイクル	1,719	62,795	36,530
8712.00218 幼児車	6,599	53,174	8,058
8712.00219 子供車	8,791	176,641	20,093
8712.00291 軽快車	597	23,460	39,296
8712.00299 その他	69,380	4,536,653	65,388
計	103,974	5,554,837	53,425

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 19 に示した平成 28 年 1～6 月の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 Q である。全体の輸入状況を表した図 H や「中華人民共和国」からの輸入状況を示した図 O とは全く異なり、「その他」が 67%、「マウンテンバイク」が 16% と大きな割合を占める一方で、「軽快車」は僅か 1% を占めるにすぎない状況となっている。

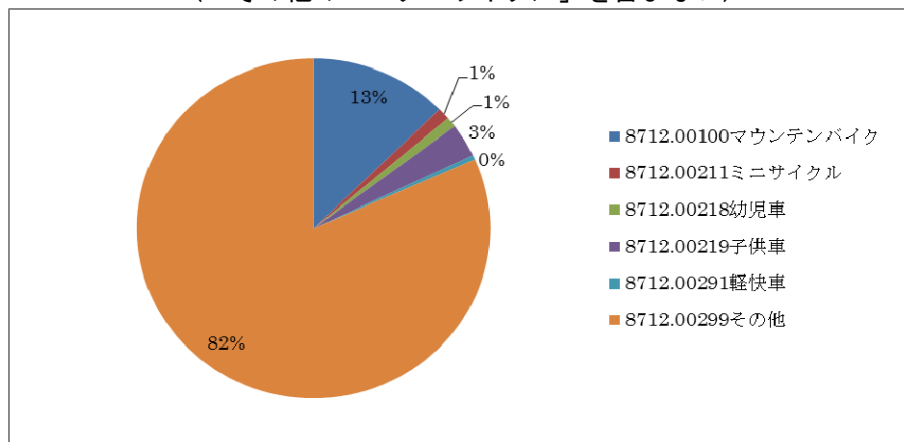
図 Q 平成 28 年 1～6 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 19 に示した平成 28 年 1～6 月の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 R である。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が 82% を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」が 13% を占め、「軽快車」はごく僅かである。

図 R 平成 28 年 1～6 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで平成 28 年 1～6 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表 20 に示す。

表 20 参考 平成 28 年 1~6 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の
輸入主要供給元 平成 27 年 1~6 月との比較

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合 (%)	平均 CIF 単価(円)
平 28.1~6 中華人民共和国	31,078	98.3	828,432	86.0	26,657
平 27.1~6 中華人民共和国	23,613	97.5	825,180	86.6	34,946
変化	7,465	0.7	3,252	-0.6	-8,289
平 28.1~6 台湾	405	1.3	72,170	7.5	178,198
平 27.1~6 台湾	513	2.1	88,657	9.3	172,821
変化	-108	-0.8	-16,487	-1.8	5,377
平 28.1~6 その他	148	0.5	62,715	6.5	423,750
平 27.1~6 その他	91	0.4	39,396	4.1	432,923
変化	57	0.1	23,319	2.4	-9,173
平 28.1~6 計	31,631	100.0	963,317	100.0	30,455
平 27.1~6 計	24,217	100.0	953,233	100.0	39,362
変化	7,414	0.0	10,084	0.0	-8,907

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年 1~6 月の「国内向け数量」について、生産台数と輸入台数の相互比較が可能な過去 11 年間の推移を表 2 1 に示す。平成 28 年 1~6 月期の国内生産比率は 11.1%であった。

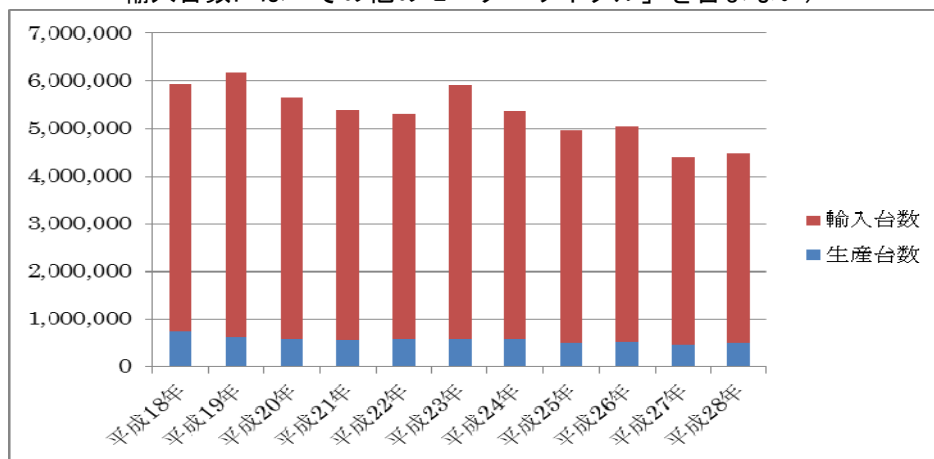
表 2 1 毎年 1~6 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 11 年間の推移
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成 28 年	497,354	3,973,098	4,470,452	11.1
平成 27 年	460,063	3,940,565	4,400,628	10.5
平成 26 年	508,373	4,537,063	5,045,436	10.1
平成 25 年	497,252	4,471,862	4,969,114	10.0
平成 24 年	572,870	4,798,280	5,371,150	10.7
平成 23 年	573,193	5,331,948	5,905,141	9.7
平成 22 年	571,753	4,723,113	5,294,866	10.8
平成 21 年	554,590	4,821,939	5,376,529	10.3
平成 20 年	582,440	5,067,152	5,649,592	10.3
平成 19 年	614,441	5,564,067	6,178,508	9.9
平成 18 年	755,461	5,176,318	5,931,779	12.7

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 27 年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図 S である。

図 S 毎年 1～6 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 11 年間の推移
 (生産台数には「電動アシスト車」を含み、
 輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 27 年以前の数値は改定値）、
 財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。平成 28 年 6 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 2 2 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「その他のモーターサイクル」は対象から除外している。

表 2 2 平成 28 年 6 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価 (円)
ミャンマー	46,915	61,846	1,318
タンザニア	38,015	75,264	1,980
ガーナ	35,225	51,872	1,473
アフガニスタン	28,057	38,471	1,371
カンボジア	24,826	41,373	1,667
イラク	19,617	40,052	2,042
ナイジェリア	19,280	32,423	1,682
フィリピン	17,160	30,390	1,771
UAE	15,184	22,343	1,471
タイ	14,058	29,032	2,065
その他	23,466	46,814	1,995
計	281,803	469,880	1,667

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 2 3 に平成 14 年から平成 28 年までの過去 15 年間の毎年 1～6 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は過去 15 年間で 2 番目、総金額も過去 15 年間で 2 番目となっている。平成 28 年 1～6 月の平均 FOB 単価は 1,798 円で、過去 15 年間で最高となっている。

表 2 3 毎年 1～6 月の我が国自転車輸出の過去 15 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
平成 28 年	1,625,300	2,921,771	1,798
平成 27 年	1,741,447	3,105,750	1,783
平成 26 年	1,598,330	2,385,563	1,493
平成 25 年	1,560,970	2,090,763	1,339
平成 24 年	1,472,001	1,919,884	1,304
平成 23 年	1,229,534	1,612,630	1,312
平成 22 年	1,183,762	1,585,455	1,339
平成 21 年	1,086,363	1,498,350	1,379
平成 20 年	1,154,173	1,923,095	1,666
平成 19 年	866,620	1,118,874	1,291
平成 18 年	643,714	698,402	1,085
平成 17 年	548,346	628,453	1,146
平成 16 年	481,314	613,121	1,274
平成 15 年	370,119	519,216	1,403
平成 14 年	298,521	393,282	1,317

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上